

アマテウス通信

(制作・著作) 日本モーツァルト愛好会

〒152-0022 東京都目黒区柿の木坂2-22-23

朝吹 英和 方

2019. 3. 20 No. 52

TEL&FAX 03-3725-7179

オペラ「魔笛」夜の女王の夫はどこに



～カットされているセリフ～

K.317 本吉 英紀

オペラ「魔笛」はセリフと音楽とからなるジグシュピールであるが、CD、DVDはもとより、生の舞台でも演奏時間を縮めるために、セリフの部分をかなりカットするのが習わしとなっているようだ。今回、オリジナルのテキストを読みながらCDを聴いていて、このことに気が付いた（CDのライナーノートに書かれているテキストを読みながら聴いていても、このテキスト自体にカットがなされているので分からない）。その中で大きく、かつ「魔笛」の理解に大いに関係するカットは、以下のモノスタス、夜の女王、パミーナの対話の中にある。

第2幕

モノスタス：第13番のアリア「誰でも惚れりやうきうきするさ」

夜の女王：おさがり！

パミーナ：（気が付いて）ああ神様！

モノスタス：助けてくれ、夜の女王だ

パミーナ：お母様、お母様

モノスタス：お母様だと。フン。これはちよいと離れて立ち聞きしなくては。

カット部分

夜の女王：この短刀が見えるかい。ザラストロのために研いだもの。あの男を殺しなさい。

パミーナ：お母様！

夜の女王：何も言わないで！

第14番のアリア「復讐の心は地獄のように胸に燃え」

カットされているところは、夜の女王とパミーナの対話の部分だが、夜の女王の注目すべきセリフは以下の通り。

夜の女王：お父様はご自分から七重の太陽の環を、神に仕える人たちに渡してしまわれたの。この強力な太陽の環を、いまザラストロが胸に下げているの。私がお父様とそのことを話し合ったとき、お父様は額に皺を寄せておっしゃった。「妻よ、私の死は迫っている。私個人が持っていたすべての宝物は、君と君の娘のものだ」—「すべてを焼き尽くす太陽の環は」—と私はあわてて話をさえぎったの。お父様は「それは神に仕える人たちにと決めてある」とお答えになった。「ザラストロは太陽の環をこれまでの私と同じように雄々しく支配するだろう。もうこれ以上何もいうな。女には理解しがたい物事を、いろいろ詮索するでない。君の務めは、君と君の娘を賢い男たちの導きに委ねることだ」と。

今まで多くのテキストからカットされたために見落とされていた部分、それは夜の女王の夫、すなわちパミーナの父の存在である。

舞台上に登場しないこの男は、夜の女王とザラストロを結ぶ重要な役を演じている。彼がザラストロに渡した太陽の環は権力のシンボルである。夜の女王とザラストロの争いは、パミーナの保護をめぐる争いでなく、権力闘争であった。

また魔法の笛は第2幕の火と水の試練の場面で、パミーナの語るところでは、彼女の父が「魔法の時刻に、稲妻と雷鳴と吹きすさぶ嵐の中で、樹齢千年の樫の木から彫ったもの」で、魔法の笛もパミーナの父の潜在的な権力の中にあると言える。この魔法の笛がタミーノとパミーナの火と水の試練を助ける。夜の女王もこの笛の力を知っていて、彼女がタミーノにこの笛を渡したのは、その力によってパミーナをわが手に奪い返し、さらにタミーノによってザラストロを打ち砕き、太陽の環を奪還し、世界征服を遂げんとするためである。しかし彼女の夫、パミーナの父がこの笛に込めた願いは、彼女の邪な心を満たすためではなく、世界の平和、神の秩序の達成のためのものであった。

公演のプログラムなどに「魔笛」の問題点として、分裂的テキストと、きわめて高貴な音楽とのアンバランスとの指摘があったことを記憶している。第1幕フィナーレ以降、ザラストロは悪魔ではなく、実は高德の僧であり、夜の女王は悪であるというどんでん返しになり、魔法の笛と鈴という今や悪となった夜の女王がくれた道具に徳力があるのも矛盾した話であるとの指摘である。これは、上のようなカットがなされているために誤解されたものであり、元々ザラストロは高德の僧である。そのストーリーの背景には夜の女王の夫の存在と、夜の女王とザラストロの権力闘争があったことを考えると分かりやすい。今年各地で多くの「魔笛」公演があったようだ。私はその一部にしか参加できなかったが、今回、セリフのカットに気が付くことにより、夜の女王の夫の存在を知ることが出来て、上記の問題点や以前からの疑問が解消さ

れたように思われる。やはり「魔笛」は奥の深いオペラであると感じます。

参考図書：オペラ対訳ライブラリー『モーツァルト 魔笛』 荒井秀直訳 音楽之友社



神ってるモーツァルトV

K.425 朝吹 英和

青春の客気溢れるモーツァルト

学生時代に何百回となく聴いてその音楽の虜となった『弦楽のためのレクイエム』について、「レクイエムが一番好きです」と作曲者に答えた作家の村上 龍は、「処女作が一番好きだなんて、それは表現者に対する侮辱ですよ」との痛烈な言葉を武満 徹に返されたと、その思い出を語っている。（『音楽の手帖・武満 徹』／青土社より）

芸術創造に対する武満のプライドが現れたエピソードである。昨年実施した愛好会の「私の好きなモーツァルト・ベスト10」ではケッヘル番号の400番台が2曲、500番台が4曲、600番台が3曲と1780年代後半に作曲された作品が上位を独占しており、第10位のピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲付」が331番であった。

然しながら一般的に若書きの魅力もまた捨て難い芸術の魅力であり、取り分けモーツァルトの場合には少年時代や青年時代の作品にも才気煥発なものが沢山存在している。そうした青年モーツァルトの傑作の中でも私の好きな曲を1773年（17歳）から1776年（20歳）までに作曲された作品の中からご紹介したい。作品から私が受けるイメージを四文字熟語で表現してみた。当時のモーツァルトはザルツブルクを拠点としてイタリア、ウィーン、ミュンヘンへの旅行にも出かけており、各地で様々な歴史や文化を吸収し、

遭遇した人々からの影響を作曲に反映させて行ったものと推察される。

	主な出来事と作品
1773年 1月	モテット「エクスルターテ・ユビラーテ」 K.165
3月	第3回イタリア旅行からザルツブルクに帰着
7月	第3回ウィーン旅行に父と出発
9月	ザルツブルクに帰着
10月	交響曲第25番ト短調 K.183
12月	ピアノ協奏曲第5番ニ長調 K.175
1774年 4月	交響曲第29番イ長調 K.201
6月	ファゴット協奏曲変ロ長調 K.191
12月	ミュンヘン旅行に父と出発
1775年 1月	オペラ『偽りの女庭師』 K.196
初	ピアノ・ソナタ第6番ニ長調 K.284
3月	ザルツブルク帰着
9月	ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調 K.216
1776年 7月	「ハフナー・セレナード」ニ長調 K.250

【モテット「エクスルターテ・ユビラーテ」 K. 165】・・・明朗快活・信条告白

1772年夏から第3回のイタリア旅行に出かけたモーツァルトはミラノで作曲したオペラ『ルーチョ・シッラ』 K. 135の上演で主役を演じたカストラート歌手ラウツィーニのために作曲したモテット。1月の愛好会例会では遠藤紗千さんのソプラノで華やかな「アレルヤ」が演奏された事は記憶に新しい。

【交響曲第25番ト短調 K. 183】・・・疾風迅雷・猪突猛進

4本のホルンがエネルギー的な展開を強調しており、頻発するシンコペーションが揺れ動く緊張感を醸成している。モーツァルトは1773年10月から翌年4月までの半年

間にこの交響曲の他に交響曲第24番変ロ長調 K. 182、交響曲第29番イ長調 K. 201と3曲の交響曲を作曲している。第25番は同時期に作曲された第24番の軽やかで平明な音楽とは大きくかけ離れており、当時のヨーロッパを支配していた時代精神（疾風怒濤）の反映やハイドン、ヴァンハル等の交響曲との関連が指摘されて来たが、近年ではガスマン（ウィーンの宮廷楽長）の短調の弦楽四重奏曲の影響がクローズアップされていると言う。（西川尚生著『モーツァルト』／音楽之友社より）

いずれにせよモーツァルトを疾風迅雷の世界に駆り立てた内的な衝動は何であったのか興味深いものがある。更に交響曲第29番の伸びやかで優美な世界との対比は正に「神ってるモーツァルト」の一面、非連続的な飛躍「クオンタム・リープ」を示すものであろう。

【ピアノ協奏曲第5番ニ長調 K. 175】

・・・意気軒昂・天気晴朗

モーツァルトは11歳の年に第1番から第4番まで4曲のピアノ協奏曲を作曲しているが、全てがショーベルトやエマヌエル・バッハ等別の作曲家の作品の編曲であり、オリジナルなピアノ協奏曲としてはこの第5番が最初の作品である。元気澁刺とした勢いのある冒頭から恰もイタリアの明るい陽光を一杯に浴びたように快活な音楽が展開する。新しい世界を切り開こうとする青年モーツァルトの面目躍如たる作品である。ウィーン時代の1782年にこの曲を再演したモーツァルトは終楽章の代わりに作曲した「ロンド」ニ長調 K. 382を演奏した程、お気に入りだったようである。モーツァルトの傑作揃いのピアノ協奏曲群の先陣を切る作品でありながら、中々実演で接する事が出来ないのが残念である。

【ファゴット協奏曲変ロ長調 K. 191】

・・・伸縮自在・静寂閑雅

モーツァルトの管楽器のために書かれた最初の協奏曲である。伸びやかなファゴットの

響き、高低差の大きな跳躍、お道化した表情（第3楽章）など聴き所の多い作品であるが、特に第2楽章の静謐な世界に惹かれる。冒頭のファゴットソロの旋律は『フィガロの結婚』の伯爵夫人のアリア（第二幕「愛の神様みそなわせ」）を先取りしている。

「暖かい夜の、月光を浴びた木立の奥で、何かがいま、おもむろに身を起そうとしている。その気配をありありとうかがわせながら、いかにも伸びやかな、自然な音符の連なりが、ちょうど鶉がどこまでも這って行くように、うねったり、そよんだりしながら続いて行く」（仏文学者・安藤元雄「音楽という無償の慰め」より）

新進気鋭のファゴット奏者である中田小弥香さんによる演奏が6月例会で聴けるのが楽しみである。

【ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調K. 216】・・・春風駘蕩・明朗闊達

1775年の秋から暮れにかけて3か月の間にヴァイオリン協奏曲第3番から第5番



「モーツァルト・ベスト10」の個人「ランキング」と「私のひとつこと」掲載にあたって

第50号では記念特集として、ベスト10と30位までのランキングを発表し、あわせて、結果についての座談会を掲載した。

今回、個人ごとの「ランキング」と合せて「私のひとつこと」を掲載させて頂くことにした。アンケートはできるだけ多くの方から回答が得られるよう、公表の仕方には触れなかった。「私のひとつこと」では、皆さんのモーツァルトへの熱い思いがにじみ出ており、すべてをお伝えしたらという強い声があつて、発表を検討した。事後的ではあったが、皆さんに公表の了承をお願いした。

リストを見て、自分の感覚に近い方や意外

までの3曲が作曲された。春風のように暖かく気持ちの良い作品。昨年12月例会では物集女純子さんのセンス豊かな素晴らしい演奏が光が丘美術館の空間を満たしてくれたが、モーツァルトは何故かその後はヴァイオリン協奏曲を作曲する事はなく、ヴァイオリンと管弦楽の協奏では名品の「ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲」変ホ長調K. 364が唯一の例外であった。

【「ハフナー・セレナード」ニ長調

K. 250】・・・百花繚乱・清光素色

この曲を聴くとき、私は婚礼前夜祭の晩餐会の後で演奏された情景のあれこれに思いを致すのが楽しみである。祝賀ムードが横溢した夏の夜、教会の隣の庭園に集う老若男女のさんざめきが聞こえてくるようであり、着飾った男女の官能溢れる気分の高揚が伝わって来る。青春の客気溢れる作品を象徴するものとして私は「私の好きなモーツァルト・ベスト10」の第10位に挙げた。



な感性をお持ちの方に気づかれるだろう。会員同士の理解と親睦を深める一助にして頂きたい。「ひとつこと」からは、モーツァルトや曲に対する新しい見方が発見でき、モーツァルト理解も深まるだろう。この発表が、会の企画などに活かされることを期待する。

朝吹 英和		
No	K 番	曲 名
1	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
4	504	交響曲第38番ニ長調 《ブラハ》
5	622	クラリネット協奏曲イ長調
6	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
7	620	オペラ 《魔笛》
8	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
9	551	交響曲第41番ハ長調 《ジュピター》

10	250	セレナード ニ長調 《ハフナー》
----	-----	------------------

その時の気分で聴きたい曲が異なるのがモーツァルトの特徴であろう。その意味でベスト10を記入した5月28日のリストである。色調や音調の多彩な変化に富み、異次元の時空に遊ぶことの出来る作品として私のベスト10は全て管弦楽を伴うものとなった。

安藤 靖雄		
No	K 番	曲 名
1	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
2	450	ピアノ協奏曲第15番変ロ長調
3	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
4	543	交響曲第39番変ホ長調
5	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
6	458	弦楽四重奏曲第17番変ロ長調《狩》 (ハイドン・セット第4番)
7	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
8	385	交響曲第35番ニ長調《ハフナー》
9	576	ピアノ・ソナタ第17番ニ長調
10	622	クラリネット協奏曲イ長調

昨年の暮れから初めてバレエ公演を鑑賞。「型」の美しさに感動した。それまで持っていた偏見が一掃された。モーツァルトはバレエ音楽を書かなかったのか。もし書いていたら、どんな美しいバレエを堪能できたのに。バレエ用に編曲したモーツァルト作品というのはないのかな。

飯島 一文		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》
2	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
3	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
4	332	ピアノ・ソナタ第12番ハ長調
5	361	セレナード変ロ長調《グランパルティータ》
6	626	レクイエム ニ短調

7	475	幻想曲ハ短調
8	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
9	581	クラリネット五重奏曲イ長調
10	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調

オペラやコンサートで涙が出るほど感動し、夜遅く帰宅してまた聞きたくてDVDやCDをかける。これも「好きな曲」だが聞く頻度が多いとは限らない。他方、晴れの日午後、コーヒーを飲みながら聞いて「なんて幸せな時間なんだろう」と思う。これも「好きな曲」で、聞く頻度も高い。両方が混在したベスト10です。

石井 雅子		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》
2	543	交響曲第39番変ホ長調
3	620	オペラ 《魔笛》
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	622	クラリネット協奏曲イ長調
6	310	ピアノ・ソナタ第8番イ短調
7	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
8	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
9	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
10	320	セレナード ニ長調《ポストホルン》

石原 和子		
No	K 番	曲 名
1	550	交響曲第40番ト短調
2	622	クラリネット協奏曲イ長調
3	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
4	334	ディヴェルティメント ニ長調
5	370	オーボエ四重奏曲ハ長調
6	219	ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調《トルコ風》
7	412	ホルン協奏曲第1番第1楽章ニ長調
8	563	弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調
9	378	ヴァイオリン・ソナタ第34番変ロ長調

10	581	クラリネット五重奏曲イ長調
----	-----	---------------

私にとってモーツァルトは、嬉しくて喜びにあふれている時は優美で軽快な曲で喜びを倍増してくれますが、抑えることも。悲しみの続く日々は悲哀に満ちた曲で共に泣き、慰め、時の経つのを待って、やがて明日への活力を与えてくれました。今までを振り返りそんな風を感じております。

泉 茂行		
No	K 番	曲 名
1	581	クラリネット五重奏曲 イ長調
2	271	ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 《ジュノム》
3	622	クラリネット協奏曲 イ長調
4	488	ピアノ協奏曲 第23番 イ長調
5	330	ピアノ・ソナタ第10番 ハ長調
6	378	ヴァイオリン・ソナタ第34番変ロ長調
7	492	オペラ 《フィガロの結婚》
8	469	カンタータ 《悔悟するダヴィデ》
9	370	オーボエ四重奏曲 ヘ長調.
10	136	ディヴェルティメント ニ長調

30曲ほどが横一線に並び、順序づけは難しい。その時々で気分を決めるほかはない。ジャンル内だと順序づけがある程度できるが、ジャンル間での比較は難しく、ほとんど不可能といえる。普段馴染みのない曲にもいい曲があると、改めて感じた。CD1枚で1時間かかり、じっくり聴くにはある程度心構えがいる。いい曲が多々あるとはいえ、宝の山を前に逡巡する。

伊藤 正文		
No	K 番	曲 名
1	427	ミサ曲 ハ短調
2	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
3	492	オペラ 《フィガロの結婚》
4	620	オペラ 《魔笛》

5	622	クラリネット協奏曲イ長調
6	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
7	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
8	275	ミサ・プレヴィイス変ロ長調
9	626	レクイエム ニ短調
10	537	ピアノ協奏曲第26番ニ長調《戴冠式》

全部好きです。特にJ.S.バッハを知って以降のモーツァルトの変化が好きです。

井戸 新子		
No	K 番	曲 名
1	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	453	ピアノ協奏曲第17番ト長調
4	504	交響曲第38番ニ長調《ブラハ》
5	427	ミサ曲 ハ短調
6	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
7	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
8	526	ヴァイオリン・ソナタ第42番イ長調
9	280	ピアノ・ソナタ第2番ヘ長調
10	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》

馴染めなく長い間避けてきたK595。バックハウス盤との出会いによって今は私のベストワンになりました。まるで天女が地上に降りてきて心の扉を開け、色彩あふれる花園に導かれている気分。そこにはなんのためらいも疑いもない清浄の境地です。心の奥深い部分に土足でずかずか入り込んで、無遠慮に感情をわしづかみしない、そんなモーツァルトが好きです。

岩佐 淳一		
No	K 番	曲 名
1	626	レクイエム ニ短調
2	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
3	417	ホルン協奏曲第2番変ホ長調
4	465	弦楽四重奏曲第19番ハ長調《不協和

		音》(ハイドン・セット第6番)
5	299	フルートとハーブのための協奏曲ハ長調

宇佐見 礼子		
No	K 番	曲 名
1	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
2	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
3	620	オペラ 《魔笛》
4	492	オペラ 《フィガロの結婚》
5	505	レチタティーヴォとアリア《どうしてあなたが忘れられるだろうか/心配しなくてもよいのです、愛する人よ》
6	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
7	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	216	ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調
10	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調

楽才が画した数知れぬ楽曲は神の域です。儂くも揺るぎ無い命でしたがモーツァルトを愛する者の心に、それぞれにアレンジされたモーツァルトが存在しています。

我人生、モーツァルトと共に。

内田 栄子		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》
2	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
3	620	オペラ 《魔笛》
4	425	交響曲第36番ハ長調《リンツ》
5	201	交響曲第29番イ長調
6	605	3つのドイツ舞曲
7	317	ミサ曲ハ長調《戴冠式ミサ》
8	136	ディヴェルティメント ニ長調
9	378	ヴァイオリン・ソナタ第34番変ロ長調
10	456	ピアノ協奏曲第18番変ロ長調

内田 久枝		
No	K 番	曲 名
1	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	626	レクイエム ニ短調
4	423	ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲第1番ト長調
5	596	リート《春への憧れ》 へ長調
6	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
7	339	証聖者のためのヴェスペレ(晩課)ハ長調
8	136	ディヴェルティメント ニ長調
9	417	ホルン協奏曲第2番変ホ長調
10	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調

セレナード ト長調は私がヴィオラを習いたいと思った曲です。どうしてヴィオラだったのかはよくわかりませんが、きっと四人の演奏者のうちでヴィオラ奏者が私のちょうど目の前で大変素晴らしい音を出していたのかも知れません。

生山 佳寿子		
No	K 番	曲 名
1	334	ディヴェルティメント ニ長調
2	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
3	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
4	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
5	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
6	581	クラリネット五重奏曲イ長調
7	476	リート《すみれ》 ト長調
8	537	ピアノ協奏曲第26番ニ長調《戴冠式》
9	545	ピアノ・ソナタ第15番ハ長調
10	283	ピアノ・ソナタ第5番ト長調

大谷 恭子		
No	K 番	曲 名
1	550	交響曲第40番ト短調
2	319	交響曲第33番変ロ長調
3	334	ディヴェルティメント ニ長調
4	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
5	504	交響曲第38番ニ長調《プラハ》
6	425	交響曲第36番ハ長調《リンツ》
7	617	グラスハーモニカのためのアダージョ とロンド ハ短調
8	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
9	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
10	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調

本アンケートに記入するにあたり、約10日間毎日モーツァルトを聴いてみた。今まで、好きな度合いを測るような聴き方をしてこなかったの、自分自身の心に向き合う上でも良い機会と感じた。そうして気付いたのは、私のモーツァルトへの共鳴は、よくいわれる“疾走する悲しみ”ではなく、澄明な幸福感にあるのではないかと。

大野 薫		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》
2	620	オペラ 《魔笛》
3	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
4	550	交響曲第40番ト短調
5	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
6	537	ピアノ協奏曲第26番ニ長調《戴冠式》
7	219	ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調《トルコ風》
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	573	デュポールのメヌエットの主題による9つの変奏曲ニ長調
10	136	ディヴェルティメント ニ長調

モーツァルトは私にとっての終生の心の友。毎日聴いているが、いまだ全集(15巻)が聴き

終わらない。無理して全部聴こうと思っていないから。

大野 雅弘		
No	K 番	曲 名
1	136	ディヴェルティメント ニ長調
2	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
3	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
4	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
5	492	オペラ 《フィガロの結婚》
6	622	クラリネット協奏曲イ長調
7	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
8	581	クラリネット五重奏曲イ長調
9	412	ホルン協奏曲第1番第1楽章ニ長調
10	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》

岡本 保		
No	K 番	曲 名
1	297 b	クラリネット、オーボエ、ファゴット、ホルンと管弦楽のための協奏交響曲(復原曲) 変ホ長調
2	314	オーボエ協奏曲ハ長調
3	550	交響曲第40番ト短調
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
6	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
7	590	弦楽四重奏曲第23番ハ長調《プロシヤ王第3番》
8	387	弦楽四重奏曲第14番ト長調(ハイドン・セット第1番)
9	421	弦楽四重奏曲第15番ニ短調(ハイドン・セット第2番)
10	614	弦楽五重奏曲第6番変ホ長調

モーツァルトへの旅はト短調交響曲で始まった。その後、K.297b 協奏交響曲のホリガーに出会い、今もベスト1の愛聴盤である。そ

してピアノ協奏曲群に親しみ、近年に弦楽四重奏に辿り着く。モーツァルトへのシンパシーは、私の中で哀しみから清澄へ、そして暖かさ・優しみへと変化しているようである。

メント No.15K.287 の順番が来るまで番組のエンディング曲として流したのが、この曲の第4楽章アダージョでした。毎週のように聴いて録音もしていましたが、なんと典雅で優雅な世界だろうかと……。この曲の番が来る頃には、このアダージョの魅力に魅せられていました。そして、いよいよ第4楽章を始め全曲を聴くことができました。益々このアダージョの虜になりました。

奥村 隆俊		
No	K 番	曲 名
1	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
2	332	ピアノ・ソナタ第12番ヘ長調
3	397	幻想曲ニ短調
4	333	ピアノ・ソナタ第13番変ロ長調
5	475	幻想曲ハ短調
6	457	ピアノ・ソナタ第14番ハ短調
7	537	ピアノ協奏曲第26番ニ長調《戴冠式》
8	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
9	626	レクイエム ニ短調
10	317	ミサ曲ハ長調《戴冠式ミサ》

選択基準が難しいです。1位から8位は寝室に置いてある CD 3 枚の曲を書きました。9位と10位は合唱で歌ったことがある曲を書きました。

神谷 昌孝		
No	K 番	曲 名
1	588	オペラ《コシ・ファン・トゥッテ》
2	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
3	452	ピアノと管楽器のための五重奏曲変ホ長調
4	620	オペラ《魔笛》
5	320	セレナード ニ長調《ポストホルン》
6	492	オペラ《フィガロの結婚》
7	427	ミサ曲 ハ短調
8	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
9	543	交響曲第39番変ホ長調
10	505	レチタティーヴォとアリア《どうしてあなたが忘れられるだろうか／心配しなくともよいのです、愛する人よ》

「私の好きな」という視点での選曲です。ジャンルとしてオペラ3曲を含め、声楽ものが半分を占めました。また「私の推薦する」とか「名曲」ということであれば、「ドン・ジョヴァンニ」、クラリネット協奏曲などを入れるでしょう。

勝間田 弘幸		
No	K 番	曲 名
1	287	ディヴェルティメント 変ロ長調《第2ロードゥローン》
2	321	主日のためのヴェスベレ(晩課)ハ長調
3	129	交響曲第17番ト長調
4	543	交響曲第39番変ホ長調
5	183	交響曲第25番ト短調
6	427	ミサ曲 ハ短調
7	540	アダージョ ロ短調
8	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
9	581	クラリネット五重奏曲イ長調
10	406	弦楽五重奏曲第2番ハ短調 (K.388「ナハトムジーク」のWAM 自身による編曲)

NHKFM「名曲の楽しみ」でモーツァルトの音楽と生涯を取り上げた時、ディヴェルティ

河北 聡子		
No	K 番	曲 名
1	458	弦楽四重奏曲第17番変ロ長調《狩》(ハイドン・セット第4番)
2	465	弦楽四重奏曲第19番ハ長調《不協和音》(ハイドン・セット第6番)

3	407	ホルン五重奏曲変ホ長調
4	370	オーボエ四重奏曲へ長調
5	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
6	626	レクイエム ニ短調
7	574	小さなジーク ト長調
8	550	交響曲第40番ト短調
9	622	クラリネット協奏曲イ長調
10	596	リート《春への憧れ》 へ長調

モーツァルトは母との繋がりでです。「春への憧れ」はよく口ずさんでいました。又、クラシック好きに導いてくれた兄との思い出にも繋がります。

岸 紀子		
No	K 番	曲 名
1	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
2	299	フルートとハーブのための協奏曲ハ長調
3	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
4	492	オペラ 《フィガロの結婚》
5	207	ヴァイオリン協奏曲第1番変ロ長調
6	211	ヴァイオリン協奏曲第2番ニ長調
7	385	交響曲第35番ニ長調《ハフナー》
8	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
9	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
10	219	ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調《トルコ風》

先月入会致しました。(ツウではなくても…) で入会させて頂きました。家で曲名も知らず(確認せず)流すように聴いておりました。今回をチャンスに協奏曲など何番か調べると、十代作品と知り、ますます無尽蔵の才能天才を感じます。あふれる湧き水の音楽はエネルギーと癒しに確実になっています。愛好会に出会えて幸せです。

桐生 雅明		
No	K 番	曲 名

1	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	317	ミサ曲ハ長調《戴冠式ミサ》
4	581	クラリネット五重奏曲イ長調
5	622	クラリネット協奏曲イ長調
6	334	ディヴェルティメント ニ長調
7	570	ピアノ・ソナタ第16番変ロ長調
8	456	ピアノ協奏曲第18番変ロ長調
9	134	交響曲第21番イ長調
10	271 a	ヴァイオリン協奏曲第7番ニ長調

ピアノ協奏曲27番変ロ長調(K.595)全ての音楽の中で1曲だけ挙げるなら、この曲しかない。どこもかしこも天国的なまでに美しい。高校生以来、何千回も聴いた。現時点で私のベスト演奏は、デ・ラローチャのピアノ、コリン・デーヴィス指揮(RCA)。自身の葬式でかけてほしいのは「戴冠式ミサ」特に「アニュス・デイ」。

草壁 孝也		
No	K 番	曲 名
1	503	ピアノ協奏曲第25番ハ長調
2	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
3	385	交響曲第35番ニ長調《ハフナー》
4	475	幻想曲ハ短調
5	377	ヴァイオリン・ソナタ第33番へ長調
6	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
7	427	ミサ曲 ハ短調
8	516	弦楽五重奏曲第4番ト短調
9	523	リート《タベの想い》 へ長調
10	344	オペラ 《ツァイーデ(後宮)》

1~3 2006.1 モーツァルト生誕250周年記念コンサート(ザルツブルク)の内田光子ほかそうそうたるメンバーの祝祭にふさわしい演奏。4~6 内田光子の演奏追跡。7 宗教曲から。8 小林秀雄“疾走する悲しみ”。9 リートから。10 オペラ あまり演奏されないツァイー

デの中のアリア。

栗山 康男		
No	K 番	曲 名
1	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
2	467	ピアノ協奏曲第2 1 番ハ長調
3	492	オペラ 《フィガロの結婚》
4	543	交響曲第3 9 番変ホ長調
5	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
6	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
7	620	オペラ 《魔笛》
8	136	ディヴェルティメント ニ長調
9	334	ディヴェルティメント ニ長調
10	453	ピアノ協奏曲第1 7 番ト長調

児玉 久子		
No	K 番	曲 名
1	457	ピアノ・ソナタ第1 4 番ハ短調
2	573	デュポールのメヌエットの主題による9つの変奏曲ニ長調
3	271	ピアノ協奏曲第9 番変ホ長調《ジュノム》
4	563	弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調
5	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》

後期の作品が好きです。余談ですが、近所のスーパーマーケット、BGMは何故かモーツァルトのピアノソナタ、ヴァイオリンソナタ、協奏曲、フルートやクラリネット協奏曲、なんとジュピターまで流れてきます（野菜や魚も気持ちが良いじゃないかな）

小林 源		
No	K 番	曲 名
1	385	交響曲第3 5 番 ニ長調《ハフナー》
2	425	交響曲第3 6 番ハ長調《リンツ》
3	550	交響曲第4 0 番ト短調

4	551	交響曲第4 1 番ハ長調《ジュピター》
5	370	オーボエ四重奏曲ハ長調
6	478	ピアノ四重奏曲第1 番ト短調
7	493	ピアノ四重奏曲第2 番変ホ長調
8	136	ディヴェルティメント ニ長調
9	251	ディヴェルティメント ニ長調
10	334	ディヴェルティメント ニ長調

小林 秀正		
No	K 番	曲 名
1	476	リート《すみれ》 ト長調
2	467	ピアノ協奏曲第2 1 番ハ長調
3	216	ヴァイオリン協奏曲第3 番ト長調
4	622	クラリネット協奏曲イ長調
5	595	ピアノ協奏曲第2 7 番変ロ長調
6	543	交響曲第3 9 番変ホ長調
7	620	オペラ 《魔笛》
8	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
9	317	ミサ曲ハ長調《戴冠式ミサ》
10	333	ピアノ・ソナタ第1 3 番変ロ長調

ゲーテとモーツァルトの「すみれ」。同時代の2人の天才の詩と旋律が美しく凝縮されているこの曲を聴く度に、私の頭脳は18世紀後半のヨーロッパに引き戻されていく。

小林 美佳		
No	K 番	曲 名
1	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
2	550	交響曲第40番ト短調
3	466	ピアノ協奏曲第2 0 番ニ短調
4	504	交響曲第3 8 番ニ長調《ブラハ》
5	620	オペラ 《魔笛》
6	448	2台のピアノのためのソナタ ニ長調
7	543	交響曲第3 9 番変ホ長調
8	516	弦楽五重奏曲第4 番ト短調
9	310	ピアノ・ソナタ第8 番イ短調
10	546	弦楽のためのアダージョとフーガ ハ

		短調
--	--	----

後期の作品・短調が多いというのが特徴のようですが、最大の共通点は「対位法を駆使した傑作」という点でしょうか。録音の技術もない時代に、高度な対位法と、人間の心理を突く圧倒的なメロディーの美しさを短期間で書き上げた天才の虜になった今、他の作曲家の作品など私には単なる装飾音楽にしか聴こえません(笑)。まだこれからもたくさんの名曲と出会えますように！

近藤 光宏		
No	K 番	曲 名
1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
3	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
4	516	弦楽五重奏曲第4番ト短調
5	339	証聖者のためのヴェスペレ（晩課）ハ長調
6	337	ミサ・ソレムニス ハ長調
7	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
8	334	ディヴェルティメント ニ長調
9	361	セレナード変ロ長調《グランパルティータ》
10	482	ピアノ協奏曲第22番変ホ長調

大好きなモーツァルトの曲をたった10曲に絞るというのは極めて困難でした。交響曲は1曲も入れられず、オペラは1曲のみとなりました。それ以外にも協奏交響曲 K.364、ピアノソナタイ短調 K.310、弦楽四重奏曲ニ短調 K.421、アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618 など外すには忍びない曲が何曲もありました。また機会がありましたら、今度は11曲以下の曲についても語り合いたいと思います。

紺野 信寿		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》

2	626	レクイエム ニ短調
3	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
4	385	交響曲第35番ニ長調《ハフナー》
5	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
6	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
7	476	リート《すみれ》 ト長調
8	339	証聖者のためのヴェスペレ（晩課）ハ長調
9	361	セレナード変ロ長調《グランパルティータ》
10	622	クラリネット協奏曲イ長調

コヴェントガーデンで観たバーム指揮、ヘルマン・プライのフィガロ(1977年)が最も印象に残る。2005年に私はシュテファン大聖堂でレクイエムを歌ったので、この曲にも一票。オペラは魔笛、後宮、コジ、イドメネオなどどれでも良くて、他の曲とのバランスを考えて外さざるを得なかった。ピアノソナタ、弦楽五重奏、ミサ、ディヴェルティメントなどにも入れたい曲が沢山あって、絞るのに困った。

斉藤 明英		
No	K 番	曲 名
1	545	ピアノ・ソナタ第15番ハ長調
2	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
3	492	オペラ 《フィガロの結婚》
4	136	ディヴェルティメント ニ長調
5	201	交響曲第29番イ長調
6	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
7	581	クラリネット五重奏曲イ長調
8	622	クラリネット協奏曲イ長調
9	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
10	617	グラスハーモニカのためのアダージョとロンド ハ短調

学生時代に、栃木県宇都宮の実家に帰郷した

際に、トロンボーンで音大を目指していた私の従兄が、ピアノの課題曲として K.545 を練習していました。その時に耳に残っていたのが、2 楽章アンダンテです。何時か私も弾いてみたいと思うようになりました。そして 50 歳の手習いと一念発起し、中古のピアノを手に入れ、習い始めた曲が、K.545 です。

左近允 輝一		
No	K 番	曲 名
1	183	交響曲第 2 5 番ト短調
2	331	ピアノ・ソナタ第 1 1 番イ長調《トルコ行進曲付》
3	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
4	467	ピアノ協奏曲第 2 1 番ハ長調
5	299	フルートとハーブのための協奏曲ハ長調
6	622	クラリネット協奏曲イ長調
7	550	交響曲第 4 0 番ト短調
8	447	ホルン協奏曲第 3 番変ホ長調
9	219	ヴァイオリン協奏曲第 5 番イ長調《トルコ風》
10	626	レクイエム ニ短調

佐藤 栄子		
No	K 番	曲 名
1	421	弦楽四重奏曲第 1 5 番ニ短調 (ハイドン・セット第 2 番)
2	516	弦楽五重奏曲第 4 番ト短調
3	466	ピアノ協奏曲第 2 0 番ニ短調
4	467	ピアノ協奏曲第 2 1 番ハ長調
5	550	交響曲第 4 0 番ト短調
6	626	レクイエム ニ短調
7	183	交響曲第 2 5 番ト短調
8	304	ヴァイオリン・ソナタ第 2 8 番ホ短調
9	457	ピアノ・ソナタ第 1 4 番ハ短調
10	219	ヴァイオリン協奏曲第 5 番イ長調《トルコ風》

島崎 陽子		
No	K 番	曲 名
1	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
2	550	交響曲第 4 0 番ト短調
3	516	弦楽五重奏曲第 4 番ト短調
4	515	弦楽五重奏曲第 3 番ハ長調
5	332	ピアノ・ソナタ第 1 2 番ハ長調
6	551	交響曲第 41 番ハ長調《ジュピター》
7	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
8	626	レクイエム ニ短調
9	492	オペラ 《フィガロの結婚》
10	475	幻想曲ハ短調

白石 孝		
No	K 番	曲 名
1	273	《サンクタ・マリア・マーテル・デイ (聖なるマリア、神の御母)》ハ長調
2	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
3	543	交響曲第 3 9 番変ホ長調
4	427	ミサ曲 ハ短調
5	450	ピアノ協奏曲第 1 5 番変ロ長調
6	375	セレナード変ホ長調
7	620	オペラ 《魔笛》
8	570	ピアノ・ソナタ第 1 6 番変ロ長調
9	200	交響曲第 2 8 番ハ長調
10	465	弦楽四重奏曲第 1 9 番ハ長調《不協和音》 (ハイドン・セット第 6 番)

熟考を重ねて選んだ。選んでみて、「調性は。」と振り返ってみると、フラット系であった(C dur はあったが)。他の皆様の選んだものも、この観点でながめてみたいものだ。

鈴木 光治		
No	K 番	曲 名
1	466	ピアノ協奏曲第 2 0 番ニ短調

2	503	ピアノ協奏曲第25番ハ長調
3	475	幻想曲ハ短調
4	397	幻想曲ニ短調
5	550	交響曲第40番ト短調
6	516	弦楽五重奏曲第4番ト短調
7	515	弦楽五重奏曲第3番ハ長調
8	581	クラリネット五重奏曲イ長調
9	310	ピアノ・ソナタ第8番イ短調
10	626	レクイエム ニ短調

4	301	ヴァイオリン・ソナタ第25番ト長調
5	564	ピアノ三重奏曲第6番ト長調
6	550	交響曲第40番ト短調
7	174	弦楽五重奏曲第1番変ロ長調
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	423	ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲第1番ト長調
10	448	2台のピアノのためのソナタ ニ長調

モーツァルトの音楽は生き活きと愛らしく
いとおしく、表情豊かで、愉快的気持ちになります。2世紀以上もたって「モーツァルトが好き」と集う愛好会の方々を見て、やはり愉快で幸せな心持ちです。ベートーヴェン作曲ですがモーツァルトの《魔笛》からの変奏曲もよく聞きます。古楽器演奏を知り、新たな発見中です。

高津 淑子		
No	K 番	曲 名
1	550	交響曲第40番ト短調
2	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
3	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	581	クラリネット五重奏曲イ長調
6	622	クラリネット協奏曲イ長調
7	626	レクイエム ニ短調
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	620	オペラ 《魔笛》
10	397	幻想曲ニ短調

1位と2位は思い出の曲です。高校時代、楽器はピアノしか弾けなかったもので、長い間ためらった後、2年生でオケ部に入り、渡されたのがビオラと40番のパート譜でした。先輩に音階を教わった後は一人で必死に練習し、初めて皆と音を合わせた時、背中がゾクゾクしたことは忘れません。大学のオケで定演の曲目コンチェルト21番の練習ピアノを弾かせてもらったのは一生の思い出です。

高橋 勇		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》
2	427	ミサ曲 ハ短調
3	620	オペラ 《魔笛》
4	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
5	523	リート《夕べの想い》 ヘ長調
6	165	モテット《エクスルターテ・ユピラーテ》 ヘ長調
7	448	2台のピアノのためのソナタ ニ長調
8	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
9	626	レクイエム ニ短調
10	524	リート《クローエに》 変ホ長調

高橋 郁代		
No	K 番	曲 名
1	412	ホルン協奏曲第1番ニ長調第1楽章
2	622	クラリネット協奏曲イ長調
3	238	ピアノ協奏曲第6番変ロ長調

高橋 佳代子		
No	K 番	曲 名
1	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
2	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
3	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調

4	183	交響曲第25番ト短調
5	550	交響曲第40番ト短調
6	622	クラリネット協奏曲イ長調
7	136	ディヴェルティメント ニ長調
8	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
9	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
10	620	オペラ 《魔笛》

順位に関係なく好きな曲を思い出しながらあげてみました。特に短調が好きです。

武居 祥子		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》
2	427	ミサ曲 ハ短調
3	620	オペラ 《魔笛》
4	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
5	523	リート《タベの想い》 ヘ長調
6	165	モテット《エクスルターテ・ユピラーテ》
7	448	2台のピアノのためのソナタ ニ長調
8	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
9	626	レクイエム ニ短調
10	524	リート《クローエに》 変ホ長調

モーツァルト好きの夫と長年暮らすうちに、私の生活の中に溶けこんできているのを感じます。忙しくて疲れた時、悩んだ時、ふと流れるモーツァルトの音楽に、励まされたり、心が洗われたり、安らぐことが出来ました。コーラスを続けているので、選曲が声楽の分野に偏ってしまいました。

武居 伸一		
No	K 番	曲 名
1	550	交響曲第40番ト短調
2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	620	オペラ 《魔笛》

4	427	ミサ曲 ハ短調
5	271	ピアノ協奏曲第9番変ホ長調《ジュノム》
6	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
7	216	ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調
8	296	ヴァイオリン・ソナタ第24番ハ長調
9	581	クラリネット五重奏曲イ長調
10	452	ピアノと管楽器のための五重奏曲変ホ長調

この順番は私がモーツァルトの曲の虜になった歴史です。40番の冒頭の主題には聴くとすぐ心が反応しました。フィガロのアリアを歌うシュヴァルツコップの声に魅了され、魔笛の夜の女王の音色は何故か心のしこりをほぐしてくれるようでした。元気な時はさらに陽気に、沈んでいる時は優しく心慰めてくれるのが、私のモーツァルトです。

谷 整彦		
No	K 番	曲 名
1	563	弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調
2	515	弦楽五重奏曲第3番ハ長調
3	581	クラリネット五重奏曲イ長調
4	452	ピアノと管楽器のための五重奏曲変ホ長調
5	493	ピアノ四重奏曲第2番変ホ長調
6	465	弦楽四重奏曲第19番ハ長調《不協和音》(ハイドン・セット第6番)
7	454	ヴァイオリン・ソナタ第40番変ロ長調
8	457	ピアノ・ソナタ第14番ハ短調
9	502	ピアノ三重奏曲第3番変ロ長調
10	423	ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲第1番ト長調

地口 浩平		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》

2	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
3	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
4	620	オペラ 《魔笛》
5	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
6	524	リート《クローエに》 変ホ長調
7	310	ピアノ・ソナタ第8番イ短調
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	388	セレナード ハ短調《ナハトムジーク》
10	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調

マルセル・デュシャンは私の好きな画家である。好きな作品ぐらいいは頭に浮かんでくる。さて、俄仕込みの会員にとって10曲挙げることは苦痛である。第1位から4位まではオペラ作品。いずれも舞台を見て感動した。他の6曲は手持ちのCDを聴いた程度のものである。手元に交響曲がない。交響曲はベートーベンファーストの思い込みからか。

鶴田 厚子		
No	K 番	曲 名
1	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
2	412	ホルン協奏曲第1番第1楽章ニ長調
3	447	ホルン協奏曲第3番変ホ長調
4	417	ホルン協奏曲第2番変ホ長調
5	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
6	265	《ああ、ママは云うわ》による12の変奏曲（キラキラ星変奏曲）ハ長調
7	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
8	622	クラリネット協奏曲イ長調
9	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
10	537	ピアノ協奏曲第26番ニ長調《戴冠式》

富井 薫		
No	K 番	曲 名

1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
3	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
4	550	交響曲第40番ト短調
5	576	ピアノ・ソナタ第17番ニ長調
6	310	ピアノ・ソナタ第8番イ短調
7	626	レクイエム ニ短調
8	620	オペラ 《魔笛》
9	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
10	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》

深々としたクラリネットの音が好きです。既にK.622をもっておられる人がいるという事ですので、未だK番号をもっていません。

富永 壯一		
No	K 番	曲 名
1	216	ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調
2	296	ヴァイオリン・ソナタ第24番ハ長調
3	334	ディヴェルティメント ニ長調
4	320	セレナード ニ長調《ポストホルン》
5	335	2つの行進曲ニ長調
6	412	ホルン協奏曲第1番第1楽章ニ長調
7	454	ヴァイオリン・ソナタ第40番変ロ長調
8	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
9	504	交響曲第38番ニ長調《プラハ》
10	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調

結果を見ると弦楽器が好きなのかなと思いました。演奏家選びでは良く歌わせる演奏が好きです。適度な甘さを持った演奏。

鳥海 登代子		
No	K 番	曲 名
1	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
2	385	交響曲第35番ニ長調《ハフナー》

3	550	交響曲第40番ト短調
4	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
5	453	ピアノ協奏曲第17番ト長調
6	620	オペラ 《魔笛》
7	622	クラリネット協奏曲イ長調
8	626	レクイエム ニ短調
9	492	オペラ 《フィガロの結婚》
10	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調

入会一年生の私には同じ作曲家で順番をつけるのは難しかったです。1位の曲はNHKのおもしろい番組の中に一部入っていて親近感を持ち、種々と問題提起されている曲だと思います。

中川 順志		
No	K番	曲名
1	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
2	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
3	550	交響曲第40番ト短調
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
6	504	交響曲第38番ニ長調《プラハ》
7	385	交響曲第35番ニ長調《ハフナー》
8	136	ディヴェルティメント ニ長調
9	459	ピアノ協奏曲第19番ハ長調《第2戴冠式》
10	138	ディヴェルティメント ヘ長調

よく聴く曲は好きな曲という自覚があるのですが、あまり聴かなくなったけれども、なぜか思い浮かべてしまう曲というものがあります。

ときどき思い浮かべる曲は学生の頃に聴いていた曲で、それらも含めて選んでみました。

長久保 洋二		
No	K番	曲名

1	545	ピアノ・ソナタ第15番ハ長調
2	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
3	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
4	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
5	626	レクイエム ニ短調
6	620	オペラ 《魔笛》
7	550	交響曲第40番ト短調
8	183	交響曲第25番ト短調
9	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
10	622	クラリネット協奏曲イ長調

モーツァルトは、もてる才能を遺憾なく発揮した人。K.545の第2楽章などを弾いてみて思いました。

中沢 義征		
No	K番	曲名
1	183	交響曲第25番ト短調
2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	620	オペラ 《魔笛》
4	626	レクイエム ニ短調
5	550	交響曲第40番ト短調
6	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
7	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	265	《ああ、ママは云うわ》による12の変奏曲(キラキラ星変奏曲)ハ長調
10	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調

1位に選んだ交響曲第25番ト短調
映画「アマデウス」の冒頭曲、モーツァルトに関心をもつきっかけとなりました。それまで、クラシックのLP、CDを少しは持っていましたが、モーツァルトは1曲もありませんでした。今ではモーツァルトのCDを60枚ほど、毎日とつかえひつかえ聞いています。

中條 熙子		
No	K 番	曲 名
1	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	366	音楽劇 《クレタの王イドメネオ》
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	482	ピアノ協奏曲第22番変ホ長調
6	622	クラリネット協奏曲イ長調
7	495	ホルン協奏曲第4番変ホ長調
8	596	リート《春への憧れ》 へ長調
9	431	レチタティーヴォとアリア《あわれな男よ、夢なのか!》
10	183	交響曲第25番ト短調

好きなモーツァルトの曲を十曲……至難の業です。ツウではない私でもこれまで多くのモーツァルトを聴いてきました。好きなジャンルはやはりオペラ!! 協奏曲、歌曲、交響曲も好きです。室内楽は私にはハードルが高いように思います。何はともあれ、モーツァルトの音楽は素直な気持ちで自然に受け入れることが出来ます。これからはまだ聴いていない曲に出会うのが楽しみです。

中西 洋一郎		
No	K 番	曲 名
1	550	交響曲第40番ト短調
2	543	交響曲第39番変ホ長調
3	537	ピアノ協奏曲第26番ニ長調《戴冠式》
4	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
5	492	オペラ 《フィガロの結婚》
6	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
7	219	ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調《トルコ風》
8	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
9	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
10	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》

中村 正子		
No	K 番	曲 名
1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	543	交響曲第39番変ホ長調
3	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
4	271	ピアノ協奏曲第9番変ホ長調《ジュノム》
5	581	クラリネット五重奏曲イ長調
6	377	ヴァイオリン・ソナタ第33番ハ長調
7	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	423	ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲第1番ト長調
10	412	ホルン協奏曲第1番第1楽章ニ長調

二木 睦子		
No	K 番	曲 名
1	492	オペラ 《フィガロの結婚》
2	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
3	219	ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調《トルコ風》
4	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
5	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
6	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
7	622	クラリネット協奏曲イ長調
8	511	ロンド イ短調
9	136	ディヴェルティメント ニ長調
10	524	リート《クローエに》 変ホ長調

西村 和夫		
No	K 番	曲 名
1	136	ディヴェルティメント ニ長調
2	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》

3	330	ピアノ・ソナタ第10番ハ長調
4	492	オペラ 《フィガロの結婚》
5	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
6	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
7	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
8	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
9	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
10	201	交響曲第29番イ長調

6	492	オペラ 《フィガロの結婚》
7	622	クラリネット協奏曲イ長調
8	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
9	427	ミサ曲 ハ短調
10	339	証聖者のためのヴェスペレ（晩課）ハ長調

モーツァルト晩年の音楽は簡潔、透明。例えば、『アヴェ・ヴェルム・コルプス』。わずか46小節のシンプルな曲は、清澄な祈りを揺るぎなく謳い上げている。例えば『魔笛』全曲を通して透明感に満ちている。オペラの中の管楽器の活躍振りは、舌を巻くばかり。例えば、『コシ・ファン・トゥッテ』のホルン、『皇帝ティートの慈悲』のバセットホルン。アリアと管楽器は渾然一体となって、曲を劇的に抒情的に盛り上げている。

野口 恵三		
No	K番	曲名
1	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
2	620	オペラ 《魔笛》
3	622	クラリネット協奏曲イ長調
4	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
5	543	交響曲第39番変ホ長調
6	581	クラリネット五重奏曲イ長調
7	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調
8	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
9	320	セレナード ニ長調《ポストホルン》
10	287	ディヴェルティメント 変ロ長調《第2ロードウローン》

レクイエムはやはり特別な曲なので、愛好会の会員番号と同様に除外しています。やはり晩年の作品が中心になってしまいますね。

橋本 博満		
No	K番	曲名
1	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
2	550	交響曲第40番ト短調
3	543	交響曲第39番変ホ長調
4	515	弦楽五重奏曲第3番ハ長調
5	516	弦楽五重奏曲第4番ト短調
6	511	ロンド イ短調
7	573	デュポールのメヌエットの主題による9つの変奏曲ニ長調
8	476	リート《すみれ》 ト長調
9	523	リート《夕べの想い》 ヘ長調
10	626	レクイエム ニ短調

乗松 昭		
No	K番	曲名
1	620	オペラ 《魔笛》
2	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
3	581	クラリネット五重奏曲イ長調
4	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
5	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》

平岡 徹		
No	K番	曲名
	139	ミサ・ソレムニス ハ短調《孤児院ミサ》
2	192	ミサ・ブレヴィス ヘ長調《小クレード・ミサ》
3	337	ミサ・ソレムニス ハ長調
4	321	主日のためのヴェスペレ（晩課）ハ長

		調
5	334	ディヴェルティメント ニ長調
6	361	セレナード変ロ長調《グランパルティータ》
7	614	弦楽五重奏曲第6番変ホ長調
8	423	ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲第1番ト長調
9	563	弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調
10	452	ピアノと管楽器のための五重奏曲変ホ長調

広瀬 哲哉		
No	K 番	曲 名
1	581	クラリネット五重奏曲イ長調
2	503	ピアノ協奏曲第25番ハ長調
3	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
4	622	クラリネット協奏曲イ長調
5	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
6	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
7	502	ピアノ三重奏曲第3番変ロ長調
8	493	ピアノ四重奏曲第2番変ホ長調
9	301	ヴァイオリン・ソナタ第25番ト長調
10	330	ピアノ・ソナタ第10番ハ長調

まずジャンルごとに1曲ずつ選んで10曲を決めたが、その中での順位付けは難しい。上位5位くらいまでは何となく落ち着くが、「何でこの曲が8位なの?」「いくら何でも10位はないよねえ」などと考え出すと、楽しみ転じて苦しみとなりました。

深沢 佳代子		
No	K 番	曲 名
1	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
2	478	ピアノ四重奏曲第1番ト短調
3	299	フルートとハーブのための協奏曲ハ長調

4	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
5	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
6	492	オペラ 《フィガロの結婚》
7	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
8	427	ミサ曲 ハ短調
9	413	ピアノ協奏曲第11番ハ長調
10	219	ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調《トルコ風》

藤田 真人		
No	K 番	曲 名
1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
3	294	レチタティーヴォとアリア《アルカンドロよ、私はそれを告白する／私は知らぬ、この優しい愛がどこから来たのか》
4	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
5	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調
6	495	ホルン協奏曲第4番変ホ長調
7	581	クラリネット五重奏曲イ長調
8	449	ピアノ協奏曲第14番変ホ長調
9	543	交響曲第39番変ホ長調
10	526	ヴァイオリン・ソナタ第42番イ長調

伏野 成樹		
No	K 番	曲 名
1	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
2	1	メヌエット K.1e ト長調 K.1f ハ長調 (クヴァーア) 「ナンネルの楽譜帳」
3	265	《ああ、ママは云うわ》による12の変奏曲 (キラキラ星変奏曲) ハ長調
4	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
5	183	交響曲第25番ト短調
6	19	ピアノ・ソナタ 4手

7	330	ピアノ・ソナタ第10番ハ長調
8	332	ピアノ・ソナタ第12番ハ長調
9	545	ピアノ・ソナタ第15番ハ長調
10	576	ピアノ・ソナタ第17番ニ長調

全て第2楽章が素晴らしい。仏教語に「世間虚仮、唯仏是真」という言葉があるが、モーツァルトの音楽にはそれを感じさせる生命の意味と喜びがある。

藤巻 勇		
No	K 番	曲 名
1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
3	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	550	交響曲第40番ト短調
6	313	フルート協奏曲第1番ト長調
7	296	ヴァイオリン・ソナタ第24番ハ長調
8	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
9	620	オペラ 《魔笛》
10	299	フルートとハーブのための協奏曲ハ長調

私のよく聴いている曲を並べてみました。皆さんのベスト10も気になります。

藤本 哲		
No	K 番	曲 名
1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
3	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
4	492	オペラ 《フィガロの結婚》
5	412	ホルン協奏曲第1番第1楽章ニ長調
6	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
7	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調
8	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
9	543	交響曲第39番変ホ長調
10	218	ヴァイオリン協奏曲第4番ニ長調

モーツァルトと言えばまず浮かんでくるのがK.622の第2楽章である。ピアノ協奏曲も

藤本 康子		
No	K 番	曲 名
1	581	クラリネット五重奏曲イ長調
2	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
3	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
4	622	クラリネット協奏曲イ長調
5	537	ピアノ協奏曲第26番ニ長調《戴冠式》
6	576	ピアノ・ソナタ第17番ニ長調
7	157	弦楽四重奏曲第4番ハ長調
8	265	《ああ、ママは云うわ》による12の変奏曲(キラキラ星変奏曲)ハ長調
9	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
10	492	オペラ 《フィガロの結婚》

松尾 茂男		
No	K 番	曲 名
1	626	レクイエム ニ短調
2	620	オペラ 《魔笛》
3	614	弦楽五重奏曲第6番変ホ長調
4	581	クラリネット五重奏曲イ長調
5	563	弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調
6	521	4手のためのソナタ ハ長調
7	503	ピアノ協奏曲第25番ハ長調
8	452	ピアノと管楽器のための五重奏曲変ホ長調
9	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
10	361	セレナード変ロ長調《グランパルティータ》

10曲選んで順位をつけることは酷な注文。各ジャンルから1曲を選び、ケツヒェル番号順に列挙しました。この何倍もの名曲の数々も

大好きで、日頃親しんでいます。

水田 敏夫		
No	K 番	曲 名
1	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
2	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
3	183	交響曲第25番ト短調
4	136	ディヴェルティメント ニ長調
5	620	オペラ 《魔笛》
6	622	クラリネット協奏曲イ長調
7	550	交響曲第40番ト短調
8	334	ディヴェルティメント ニ長調
9	516	弦楽五重奏曲第4番ト短調
10	522	音楽の冗談(村の楽師の六重奏)へ長調

1位から4位はこれぞ私のモーツァルトで、迷うことなく選びました。中でも1位は「ピアノ協奏曲第21番」。一番映画を見ていた学生時代、スクリーンの中で出会った最初のモーツァルトで、思い出の曲です。映画音楽にクラシックはたくさん出て来ますが、珠玉の名曲です。もちろん1~10位全てが映画音楽に使われています(中でもK.525は1~4楽章が圧倒的に多く使われています)。

水野 真理		
No	K 番	曲 名
1	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
2	165	モテット《エクスルターテ・ユピラーテ》
3	299	フルートとハーブのための協奏曲ハ長調
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調
6	427	ミサ曲 ハ短調
7	339	証聖者のためのヴェスペレ(晩課)ハ長調

8	626	レクイエム ニ短調
9	550	交響曲第40番ト短調
10	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》

アヴェ・ヴェルム・コルプスは、高校生の時モーツァルトの曲として初めて感動し、それ以降ずっと心の中にある曲で、ベストワンと思っています。でも、その他の曲も順位はつけにくく、ベスト10はとても難しい質問でした。

葦島 紘一		
No	K 番	曲 名
1	456	ピアノ協奏曲第18番変ロ長調
2	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
3	271	ピアノ協奏曲第9番変ホ長調《ジュノム》
4	543	交響曲第39番変ホ長調
5	550	交響曲第40番ト短調
6	183	交響曲第25番ト短調
7	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
8	504	交響曲第38番ニ長調《プラハ》
9	492	オペラ 《フィガロの結婚》
10	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調

映画「ショーシャンクの空に」(1994年)の中で、冤罪で収監された主人公(ティム・ロビンズ・有能な銀行員)が刑務所の放送室から建物外で作業中の服役囚に向け「フィガロの結婚/手紙の二重唱」を聞かせる。「音楽と希望は誰にも奪えないものだ」と説明する。映画とクラシック(モーツァルト)のベストマッチ!!

宮田 宗雄		
No	K 番	曲 名
1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
3	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
4	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調

5	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
6	450	ピアノ協奏曲第15番変ロ長調
7	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
8	297	交響曲第31番ニ長調《パリ》
9	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》
10	129	交響曲第17番ト長調

創立15周年記念の時も同様のアンケートを実施した。その時は曲数は無制限だったが、結果がどう変わったか興味津々。過去3回、自分でモーツァルト選曲集を作った。

1. 阪神大震災「被災者に捧げるモーツァルト選集」
 2. 亡き兄へのオマージュ
 3. モーツァルトの祈り「東日本大震災の被災者に捧ぐ」
- 今度は自分の葬送のための選曲か。

村田 秀雄		
No	K番	曲名
1	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
2	620	オペラ 《魔笛》
3	492	オペラ 《フィガロの結婚》
4	588	オペラ 《コシ・ファン・トゥッテ》
5	384	オペラ 《後宮よりの逃走》
6	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
7	626	レクイエム ニ短調
8	516	弦楽五重奏曲第4番ト短調
9	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
10	525	セレナード ト長調《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》

私が好きなのは、やっぱりオペラになります。人間のさまざまな感情を極上の音楽に変換し、完璧に表現できる名人芸は、やっぱり、子供の頃から努力し続けた天才ならではの至高の芸術だと思います。

本吉 英紀		
No	K番	曲名
1	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》

2	492	オペラ 《フィガロの結婚》
3	620	オペラ 《魔笛》
4	542	ピアノ三重奏曲第4番ホ長調
5	481	ヴァイオリン・ソナタ第41番変ホ長調
6	330	ピアノ・ソナタ第10番ハ長調
7	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
8	297	交響曲第31番ニ長調《パリ》
9	447	ホルン協奏曲第3番変ホ長調
10	317	ミサ曲ハ長調《戴冠式ミサ》

私のベストワン…ドン・ジョヴァンニK.527 第1幕、幕開けからの息もつかせぬ場面展開にはいつもドキドキさせられる。それと全編にちりばめられた珠玉のアリア。第2幕からは、ドン・ジョヴァンニの破滅まで、この音楽が終わることなく、永遠に続いてほしいと思いつながりいつも聴いています。

森下 英子		
No	K番	曲名
1	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
2	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
3	581	クラリネット五重奏曲イ長調
4	452	ピアノと管楽器のための五重奏曲変ホ長調
5	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
6	250	セレナード ニ長調《ハフナー》
7	450	ピアノ協奏曲第15番変ロ長調
8	314	フルート協奏曲第2番ニ長調
9	412	ホルン協奏曲第1番第1楽章ニ長調
10	545	ピアノ・ソナタ第15番ハ長調

演奏会行き減り、又 CD、MD は気に入るとくり返しかけてしまうので、未聴曲も多い。今の私のベストワンは K.466 P 協 (20 番)。先月からツァハリアス 9 枚組を順に聴き、4 枚目のこの曲は身近に色々な事重なり混乱の私に隣りでモーツァルトが凄く真剣弾き振り下さってる様で、次ぎ 5 枚目トップのジ

ユノムとセットで私は励ましを頂き感謝一杯に。

森田 勉		
No	K 番	曲 名
1	397	幻想曲ニ短調
2	265	《ああ、ママは云うわ》による12の変奏曲(キラキラ星変奏曲)ハ長調
3	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
4	310	ピアノ・ソナタ第8番イ短調
5	545	ピアノ・ソナタ第15番ハ長調
6	311	ピアノ・ソナタ第9番ニ長調
7	488	ピアノ協奏曲第23番イ長調
8	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
9	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
10	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調

柳田 迪子		
No	K 番	曲 名
1	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
2	458	弦楽四重奏曲第17番変ロ長調《狩》(ハイドン・セット第4番)
3	465	弦楽四重奏曲第19番ハ長調《不協和音》(ハイドン・セット第6番)
4	492	オペラ 《フィガロの結婚》
5	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
6	554	4声のカノン《アヴェ・マリア》ハ長調
7	596	リート《春への憧れ》ハ長調
8	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
9	620	オペラ 《魔笛》
10	626	レクイエム ニ短調

山崎 幸子		
No	K 番	曲 名

1	581	クラリネット五重奏曲イ長調
2	620	オペラ 《魔笛》
3	551	交響曲第41番ハ長調《ジュピター》
4	304	ヴァイオリン・ソナタ第28番ホ短調
5	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
6	331	ピアノ・ソナタ第11番イ長調《トルコ行進曲付》
7	334	ディヴェルティメント ニ長調
8	550	交響曲第40番ト短調
9	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
10	545	ピアノ・ソナタ第15番ハ長調

山田 興達		
No	K 番	曲 名
1	465	弦楽四重奏曲第19番ハ長調《不協和音》(ハイドン・セット第6番)
2	516	弦楽五重奏曲第4番ト短調
3	421	弦楽四重奏曲第15番ニ短調(ハイドン・セット第2番)
4	406	弦楽五重奏曲第2番ハ短調(K. 388「ナハトムジーク」のWAM自身による編曲)
5	590	弦楽四重奏曲第23番ハ長調《プロシヤ王第3番》
6	563	弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調
7	581	クラリネット五重奏曲イ長調
8	620	オペラ 《魔笛》
9	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
10	183	交響曲第25番ト短調

弦楽四重奏曲や弦楽五重奏曲などをよく聴きます。心の癒しとなり、明日への活力の源となります。

山野井 勇作		
No	K 番	曲 名
1	622	クラリネット協奏曲イ長調
2	620	オペラ 《魔笛》

3	550	交響曲第40番ト短調
4	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
5	491	ピアノ協奏曲第24番ハ短調
6	317	ミサ曲ハ長調《戴冠式ミサ》
7	595	ピアノ協奏曲第27番変ロ長調
8	364	ヴァイオリンとヴィオラと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調
9	492	オペラ 《フィガロの結婚》
10	304	ヴァイオリン・ソナタ第28番ホ短調

吉田 智子		
No	K 番	曲 名
1	543	交響曲第39番変ホ長調
2	527	オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》
3	618	モテット《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調
4	581	クラリネット五重奏曲イ長調
5	620	オペラ 《魔笛》
6	492	オペラ 《フィガロの結婚》
7	563	弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調
8	626	レクイエム ニ短調
9	466	ピアノ協奏曲第20番ニ短調
10	136	ディヴェルティメント ニ長調

1位は、大好きな曲。亡くなられた磯山先生にお伝えした際、チャーミングな笑顔で口ずさんでくださった懐かしくも良き思い出。2位は言わずもがな最高傑作！私のケッヘル番号。5位の「魔笛」の深淵な魅力を日生劇場の公演で再認識。7位のレクイエムはBS3で放送されたクルレンツィス・ムジカエテルナの演奏に痺れたので。9位は、今年2月、仲道郁代さんのP協20番に痛く感動し、II楽章に落涙。順位を付けるのは難しく、今のフィーリングで選出。感動の演奏を体験するとその曲が大好きになっている。ジュピターK.551とヴァイオリン・ソナタ42番K.526も入れたかった。

吉野 義夫		
No	K 番	曲 名
1	467	ピアノ協奏曲第21番ハ長調
2	581	クラリネット五重奏曲イ長調
3	478	ピアノ四重奏曲第1番ト短調
4	285	フルート四重奏曲第1番ニ長調
5	550	交響曲第40番ト短調
6	504	交響曲第38番ニ長調《ブラハ》
7	299	フルートとハープのための協奏曲ハ長調
8	492	オペラ 《フィガロの結婚》
9	454	ヴァイオリン・ソナタ第40番変ロ長調
10	157	弦楽四重奏曲第4番ハ長調

あれこれ考えた末、選んだ曲は好きな曲、よく聞く曲ではなく、思い出と結びついた曲になりました。



モーツァルトについての質問あれこれ

第465回例会（2018年7月21日開催）では神戸モーツァルト研究会代表の野口秀夫先生にご講演頂きましたが、会員の皆様から懇親会の席上やその後も先生にお尋ねしたい質問が多数寄せられました。

そこで野口先生に皆様のご質問をお送りした所、ご丁寧なご回答を頂きましたので、別表の通りご紹介致します。

なお、野口先生のモーツァルトに関する研究成果や関連情報などはご著書並びにネット上でも公開されていますので、ご興味のある方は是非ご覧下さい。

「神戸モーツァルト研究会」HP/同研究会例会での活動報告等を閲覧出来ます。

<http://www.asahi-net.or.jp/~rb5h-ngc/j/kobemoz.htm>

「モーツァルト研究オンライン」／自筆譜、印刷譜に関する諸事情、同時代作曲家との関係、多くの学者による研究成果など多彩かつ充実した内容が満載されています。野口先生の研究論文12本、音楽データ(MIDIファイル)、モーツァルト全作品・草稿・スケッチ年代順目録やモーツァルティアン談話室もあります。

<http://www.asahi-net.or.jp/~rb5h-ngc/index-j.htm>

野口先生の著書『アマデー君、遊びましょ！』／モーツァルトと楽しむ言葉遊び・数字遊び・音楽遊び(2015年・神戸新聞総合出版センター)では豊富な参考文献、資料等を駆使した上で、先生独自の豊かな想像力と大胆な仮説によって示唆に富む内容が盛り込まれています。414ページに及ぶ大著です。

質問事項と野口先生のご回答	
問 1	<p>① モーツァルト没後 225 年記念で出た新モーツァルト大全集で作品番号が変わったようですが、どのように変わったのか、そのメリットは何か、この作品番号は定着していきそうか、ケツヘル番号はどうなっていくのか知りたい。</p> <p>②野口先生が考える、「ケツヘル番号の正しいあり方」とはどのようなものでしょうか？</p> <p>③野口先生はナンシーのオマージュとしてカンタータK.477a とアリアK.505 をセットで考えられましたが、私はアリアK.505 にピアノ協奏曲第 20 番K.466 とフィガロの結婚K.492 のスザンナのアリアの三つをセットでナンシーのオマージュと考えましたが、それに対するお考えをお聞きしたい。</p>
答 1	<p>① モーツァルトの最新作品番号について ニール・ザスローがリーダーとなり 1994 年以來取り組んでいる『新ケツヒェル Der Neue Köchel』はなかなか完成を見ませんが、その内容を先取りしていると思われる作品目録には以下があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The New Grove Mozart, 2001 の Cliff Eisen による作品表 2. Ulrich Konrad, Mozart-Werkverzeichnis, Kompositionen, Fragmente, Skizzen, Bearbeitungen, Abschriften, Texte, 2005, Bärenreiter-Verlag (MGG のモーツァルトの項の作品表と同じもの) 3. Kochel-Verzeichnis ("Little Edition" 2006) Ludwig Ritter von Kochel/ ed. Eisen & Konrad - Breitkopf & Haertel USA 4. Neue Mozart-Ausgabe, Mozart225, 2016 CD に同梱の Köchel Book があります。 <p>刊行準備中の『新ケツヒェル』の編集方針は以下のとおりです。弊意見を矢印で記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケツヒェルの最初の考えに戻り完成された作品のみで主部が構成され、年代順に配列される(従ってシュタドラーの補作したクラヴィーア作品ばかりでなくハ短調ミサやレクイエムも付録に入る。もちろん断片やスケッチも排除される)。可能な限り主部の年代順番号はケツヒェル初版の番号に立ち戻るが若干の新しい番号も含まれる。→ 年代順が採用されるのは歓迎です。初版の番号に立ち戻るのも賛成ですが、配列が番号順でないという矛盾が生じるのではないのでしょうか。 ・スケッチ／断片には別の年代順の番号が付く。個々に主部と関連づけがなされる。→ ケツヒェル番号のないスケッチには Sk 番号が付されます(NMA X/30/3 による。年号とアルファベツ

トの組合せで1曲を表しますが、年号あるいはアルファベットが正確に作曲年代あるいは作曲順を表しているとは限らないことに注意する必要があります。完成曲のために残されているスケッチは完成曲のケツヒェル番号を使って参照されるためスケッチ番号は付けられません。これは徹底を欠いていると思います。フラグメントには Fr 番号が付されます (NMA X/30/4 による。既にケツヒェル番号のついている曲にも重複して付けられるのでややこしいことになります。例えば Fr 1791h (K.626), Fr 1782n (K.427(417a))のように)。

- モーツァルト時代の真正な目録、筆写譜や出版に見られる演奏に関する情報は当時のままに表記する。つまり、19 世紀や 20 世紀の表現や考え方に変えない (Basso を「チェロ及びコントラバス」と訳さない。またパルティア、ナハトムジーク、ノットウルノなどを恣意的にセレナーデに変えない)。→ この表記方法には賛成です。

- 真正な筆写譜、真正な出版譜は特別に配慮する。モーツァルトが最後にチェックした訂正や演奏表現の重要な情報があり、自筆譜には欠けているものだからである。→ この考え方には全面的に賛成です。

- 年代を特定できずに推定で作品に年代付を行うのを避ける方法を開拓する。→ Fr 178Xa~Fr 178Xe の例があり、別にまとめるのだと思います。後で年代が判明した場合完成曲であれば新しいケツヒェル番号を付けられるでしょうが、スケッチやフラグメントは年代順にアルファベットが付けられてしまっているため追加ができないシステムになっています。どうするのでしょうか。

- ある作品を主部に入れるか、疑わしい作品の付録に入れるかは懐疑主義をとる。すなわち迷う作品は主部には入れない。→ 改訂のフットワークを軽くするため、英語版をウェブで運用すること。一方ドイツ語版を Breitkopf & Härtel が書籍として残すという方法です。

- 最後に書いた稿は徹底的に疑問視する。いくつもの段階の稿がある場合はすべてを列記する。→ モーツァルトが演奏会ごとにどのように適合させ改訂してきたのかを知ることは、より深く曲を理解できると期待されます。

- ジャンル別目録は検索用に完璧にする。一つのジャンルに限定できない作品は複数のジャンルに出す。

②『新ケツヒェル番号』は編集方針の説明なしでは、複雑で使いにくいという人も多いでしょうから、説明書きが必要でしょう。個人的には未完成曲のスケッチだけでなく、完成曲のためのスケッチにも番号を付けてほしいし、異版にも別番号を付けてほしい。完成曲・スケッチ・断片・異版を一括して年代順に並べた一覧表も欲しい (私家版でよろしければ <http://www.asahi-net.or.jp/~rb5h-ngc/j/koechel.htm> をご参照ください)。

③ K.477a と K.505 はナンシーのためだけに作曲したものゆえセットで考えました。しかしナンシーとの告別演奏会で演奏された K.505 と K.466、そしてナンシーのスザンナのために書かれた K.492 のアリアはナンシーを送る曲として相応しいと思います。特に K.466 についてはトマス・アトウッドが最後に聴いたモーツァルトの演奏を 1830 年頃に回想してこう述べています。「モーツァルトは、ピアノフォルテ伴奏のカンタータ [K.477a のことでしょうか?] を贈ったストレースの義援演奏会で、K.466 と K.505 を演奏した」(NMA: X/31/2 p.90)。

問 ④ ナンシーの経歴をたどると、情報のかなりの部分が、マイケル・ケリーの 回想録によつて
2 います。リヴォルノでの愉快的な出会い、フィッシャーとの不幸な結婚、 女兒の夭折と発声障害、
ケリーの賭博借金 の肩代わり、モーツァルトの手紙の紛失事件、 など。さらに、イギリス帰国

	<p>後の消息もかなりその回想録に負っているように思われます。また、モーツァルトとのつきあいでピリアードに熱中したこと、トーマス・リンリーについてのモーツァルトの評言、ステイーヴンがハイドン、ディッターズドルフ、ヴァンハルが参加してモーツァルト四重奏曲のパーティを開催したことなどがあります。その他マイケル・ケリーの回想録には、どんな話題が記述されているでしょうか。また、その信憑性はどの程度でしょうか。</p> <p>⑤ ナンシー・ストレースの母親の没年はわかりませんか。</p>
答 2	<p>④ 回想録をすべて読んだわけではありませんので、分かりませんが、ダブリン、イタリア (1779-83)、ヴィーン (1783-87)、ドゥルリー・レーン (1787-91) で経験した出来事を 1826 に思い出して書いているもので、一般には「愉快的回想録」「味わい深い逸話」などと評価されております (Wikipedia: Michael Kelly)。正確さについては、例えば回想録の記述に「<u>皇帝は弟のケルンの大司教マクシミリアンを伴いお見えになられました。ステイーブン・ストレース作曲の新しいオペラがその機会に制作されました。ストレース嬢と私が二つの主演を演じました。第一幕の途中で、ストレースは急に声を失い、上演中ずっと声を発することができませんでした。</u>これは当然観客だけでなく演奏者たちをも落胆させました。素晴らしいお気に入りの初的女性歌手の損失は、作曲家である彼女の兄にとって大きな打撃になりました。私は彼女の絶望と失望を決して忘れることはありません。彼女はその当時それほどの不幸に何の覚悟もできていませんでした。<u>5ヶ月間</u>彼女は舞台に出るための満足のいく声を回復できなかつたのです」とありますが、実際には皇帝ヨーゼフは参席しておらず、声は失われたのではなく、「歌う努力をしたがうまくいかなかった。それでオペラの面白さが削がれた (ツィンツェンドルフの日記)」が正しいようであり、また、舞台復帰までにかかった時間は3か月半でした。ただし恣意的な捏造はなさそうですし、回想録には勘違いや記憶違いが付き物と割り切れれば、信憑性は充分にあると思います。</p> <p>⑤ ナンシー・ストレースの母親の没年</p> <p>A Biographical Dictionary of Actors, Actresses, Musicians, Dancers, Managers & Other Stage Personnel in London, 1660-1800, Edward A. Langhans, SIU Press, 1973, p.302によれば「母エリザベスは 1821.5 に 82 歳で亡くなった。8.21 に執り行われた葬儀にはジョン・ブラハムが参列した」とあります。因みに 1817.8.24 に既に亡くなっていたナンシーはジョン・ブラハムとの間に息子を儲けていましたが、結婚はしていませんでした。参考までに Morning Chronicle Newspaper Archives, Jun 22, 1826, p. 3 には「マダム・ストーレス [ナンシー] は 1817 年 8 月 17 日 [ママ] に死去した。彼女の母親エリザベス・ストーレスは彼女の唯一の親戚として、マダム・ストーレスが亡くなったとき彼女の不動産とあらゆる所有物の分配を受ける資格があった」という記事があります。しかし実際にはナンシーの遺言書が出てきて、それにより息子のほうに 5 万ポンドが相続されました。</p>
問 3	<p>⑥ 最近の読み変えや斬新なモーツァルトオペラについて大方の評論家の方は肯定的ですが～又先日、田辺先生はダ・ポンテの3部作ではコジが一番好きとの事でしたが野口先生はどうなんでしょうか？</p> <p>⑦ ヨーゼフ2世がイタリアで活躍していた歌手をウィーンに引き抜いたそうですが英国出身のナンシー・ストレースもイタリアで活躍してたのですね。スザンナに抜擢された一番の理由は何？</p> <p>⑧ モーツァルトの死因の最新の見解も気になりますし、モーツァルトの死と魔笛の関連性等も</p>

	興味を覚えます。
答 3	<p>⑥ 私は時代を現代に置き換えた読み替えには否定的です（時代劇と現代劇とはジャンルを分けるべき）。現代に置き換えないで筋を読み替えるのはありかと思いますが（例えば夜の女王を善、ザラストロを悪と設定するなど）、歌詞や台詞との矛盾が露呈してしまうならば興醒めです。事前にパステイッチョであると宣言し、オペラのタイトルを変え、曲の入れ替えや台本の改作を行うというのならば新作として聴いてみたいと思うかもしれません。</p> <p>⑦ 1778 に一家はナンシー売り込みのイタリア旅行を開始、1779 フィレンツェのペルゴラ劇場においてビアンキの《カストーレとポルーチェ》の記念碑的上演でオペラ・セーリアの歌手として名前を売り出そうとしていたナンシーは当時の偉大な男性ソプラノ歌手マルケージと共演するチャンスに恵まれました。14歳の彼女はいわゆる“マルケージの爆弾”（上行下行半音階スケールを繰り返し最後の最高音で完璧な力量と強さを誇示する歌唱法）と張り合い、「爆弾の力を見せる権利は他の誰にも負けず劣らず私が持っているわ」と主張し断行、マルケージは狼狽し「もし彼女がこの劇場から去らなければ、自分が去る」と宣言したため、ストラーチェは解雇されました。以後ルッカ、パルマ、リヴォルノ、ミラーノ、ヴェネツィアで歌い、1783 にヴェネツィアのサン・サムエレ劇場の劇場支配人ジャコモ・ドラッツォ伯爵の働きにより、ヨーゼフ2世がウィーンで結成を準備中のイタリアオペラ団の一員としてリクルートされました。早速モーツァルトは歌劇《騙された花婿》K.430の台本のエウジニア役の欄にフィッシャー夫人（ナンシーのこと）とメモしています。K.430が未完になった理由の一つに1784の彼女の度重なる病気があったかも知れません。病が癒えた彼女にスザンナ役を充てたのはその流れから見ると唐突ではなくチャンスを待っていたのが実現したと言えるでしょう。したがってスザンナ役だから選んだというのは言い過ぎかと思われます。なお、音楽的に伯爵夫人との音高の交叉、スープレットの性格を逸脱した感情表現の深さやアリアの修正稿の多さが議論されますが、これはナンシーがセーリア歌手であったこと、皇帝ヨーゼフがセーリアの上演を基本的に拒否していたことへの窮余の策（ブッフア中にセーリアの技法を取り入れ、セーリアの良さを残す）ではなかったかと思えます。因みにストラーチェの容姿について、ツィンツェンドルフは日記に「ストラーチェの天使のような頬」と書き、ハンガリーの詩人カズィンツィ（1759—1831）は、「美人歌手ストレースは目、耳、そして魂を魅了した」と書いています。現代の辞書類でセイディは（スザンナ役に付いて）「彼女の魅力と快活な物腰は賞賛された」と述べていますが、リーバーンは「ナンシーは小柄で太っていたため、深刻な内容のオペラには向かなかったが、ウィーンの上演作品のほとんどを占める喜歌劇においては、右に出る者がなかった」述べています。どれが正しいのか分かりません（小柄で太っていると深刻な内容のオペラには向かないというのはセクハラまがいです）。</p> <p>⑧ モーツァルトの死因は病死であるとは言えると思えます。臥せてから2週間で亡くなっていますが、急性疾患とは限らず、慢性疾患が急に悪化したのではないかと考えています。</p>
問 4	<p>⑨ コジ・ファン・トゥッテ K.588は19世紀を通して評価が低く見られて、ほとんど演奏される機会は無かったようですが、それにはベートーヴェンやワーグナーの低い評価が影響したとされています。これとは反対に、積極的に高い評価をした音楽家や評論家はいなかったのでしょうか。</p>
答 4	<p>⑨ 18世紀の評価はおおむね肯定的でした。以下の通りです。(1) ツィンツェンドルフの日記1790「新しいオペラ《コシ・ファン・トゥッテあるいは恋人たちの学校》を観る。モーツァル</p>

	<p>トの音楽は魅力的で内容はとても面白い」(2) モード誌 1790「わが劇場ではモーツァルトの新しいすばらしい作品をやっている。...その題名は《コシ・ファン・トゥッテあるいは恋人たちの学校》。音楽についてはそれがモーツァルト作であることがすべてを物語っていよう」(3) ベルント・アンゼラム・ヴェーバー 1793「《フィガロの結婚》以後では、疑いもなくこのオペラが最も優れている。中でもとりわけ、多声的なさまざまな出来事が、描写されるより先に感じ取られるようなひとつの美およびひとつの表現に属している」(4) ロホリッツ 1801「この作品がドイツの劇場でよい出来をおさめないことは嘆かねばならない。ドイツの聴衆はこの種の滑稽な芝居に対し、たいていどこでも過剰な重々しきで反応して、軽やかな気分になることはほとんどないし、これほど徹底したイタリア風茶番劇の分野をこなすためには、ドイツの男性歌手にも女声歌手にもあまりに演技力がなさすぎ、なによりあまりにも洗練されておらず、ひょうきんさがなく、いたずらっぽさもなさすぎる」。</p> <p>一方 19 世紀には非現実性と軽薄さの拒否から、ドイツ語圏では 20 数種以上の改作で上演されました。歌詞が変えられ、多くの例ではレチタティーヴォが台詞に変えられました（台詞は残っていない）。音楽はカットされはしましたが殆ど変えられてはいないといえます。19 世紀前後の《コシ・ファン・トゥッテ》受容にはこれら改作の受容が混在していることに留意すべきで、例えば、ゲーテ夫人から息子宛て 1797「オペラは改良された台本によってならワイマルで成功するでしょう。なぜって、いまここでやっている台本はひどいのですもの。ベルンハルトさんがお前に頼んでやってもらおうというのがこの改作なのです。書きかえやその他関係したもろもろの全費用は、このうえない感謝をこめて支払われることでしょう」は改作同士の比較評価のようです。</p>
問 5	<p>⑩ モーツァルトはレクイエムが遺作となってしまいましたが、1791 年以降 10 年以上生き永らえたとしたら、どんな作曲家になっていたでしょうか？病の床で無念だったと思いますが、彼の目指す未来予想図が知りたいです。</p>
答 5	<p>⑩ モーツァルトは作曲家としては天寿を全うしたと言っているのではないのでしょうか。ないものねだりを抑えるために彼の 35 年 10 か月の生涯は、我々に置き換えればその倍の 71 歳 8 か月の生涯に相当するのではないかと思ったりします。モーツァルト自身は宗教音楽への展望を持ち、K.626 で再出発の希望を抱きましたが、それがどう展開したかは分かりません。</p>
問 6	<p>⑪ 私はダ・ポンテ三部作が好きですが、それぞれの作品の描く世界の多様さ、音楽による人間心理描写には格別のものがあります。「フィガロの結婚」・「ドン・ジョヴァンニ」・「コジ・ファン・トゥッテ」それぞれに対する野口先生の思いをお聞かせ頂ければ幸いです。</p>
答 6	<p>⑪ 鑑賞時に期待することは新たな出会いです。同じ曲を聴く場合、生であれば演奏環境の違いによる、CD などであれば聴取側の変化による新たな出会いであるかと思われまます。あるとき K.271 の第 3 楽章の中間部で時間が巻き戻される感覚を味わいました。だからと言って具体的にその感覚を求めて訊き始めたのではなく、またこの曲が特に好きという訳でもありません。再び聴いて同じ感覚を求めても裏切られるでしょう。期待がフェイントにより裏切られ、その代わり期待してなかったところに新たな答えが与えられるということのようです。その上で、聴く前に「フィガロの結婚」には心理表現の綾・深さを、「ドン・ジョヴァンニ」には緊張感と滑稽さの振幅の大きさを、「コジ・ファン・トゥッテ」には虚構の遊びに現実感を味わえることを期待しますが、聴けばそれらとはまた異なった何かが与えられるだろうと思われまます。それが、モーツァルトの余人にはない偉大なバランス感覚なのだと思います。</p>

ナンシー・ストーレスのお墓

K618 紺野 信寿



昨年7月の例会で野口秀夫先生が「歌姫ナンシー・ストーレスへのオマージュ」と題して、新発見のカンタータ K.477a とナンシーについて話され、12月の「アマデウス通信」では宮田宗雄さんがナンシーとアロイジアについての比較検討やコンサートアリアの解説を、またガーディナー泉さんも多くの資料を駆使して詳細なナンシー像とその生涯を浮き彫りにされた。

私も「フィガロの結婚」でフィガロのフィアンセ：スザンナを初演したナンシーには関心があった。2006年にモーツァルトの生誕250年を記念して、NHKが「毎日モーツァルト」というシリーズのテレビ番組を放映した。9月22日の放送で、ナンシーのお墓がロンドンのセント・メリー教会にあるということで、その映像がほんのワンカット出たのだった。最近になってインターネットで調べたところ、それはランベスというところであって、今ではガーデニング博物館になっていることが判った。訪英の際そこへ行くことにした。
<https://www.findagrave.com/memorial/17244290/nancy-storace>

2018年9月30日、地下鉄の「ウェストミンスター」駅から外へ出ると、議事堂のビッグベンが正面に屹立し、左手にテムズ川にかかるウェストミンスター橋がある。それを渡って南側、つまり右岸の遊歩道を川上に向かって10分ほど歩くと、次の橋がランベス

橋。橋の下から階段を車の通る広い通りへ上がると、交差点の角に改装された古い教会があった（写真1）。受付の婦人や売店の娘さんにナンシーのことを尋ねると全く知らないのびっくりした。婦人が奥から教会の歴史に詳しい人と呼んでくれた。その人によると、教会は1977年に取り壊しになるところ、そこにお墓のあった庭師のジョン・トラデスカンツという人を記念して、博物館として残された、その際に古いお墓は整理され、庭やカフェになって今に至っているとのことだった。

1階から2階へ上がる階段に沿った壁に石造りのナンシーの銘板が残っていると聞いて、薄暗い



ところで目を凝らすと、表面はかなり摩滅していて判読が困難だった（写真2、上部）。

テレビで見た時には、もっときれいではっきりした銘板だったと思ったがどうなったのだろう。博物館のブログや説明書にナンシーのことを載せれば、モーツァルトファンがたくさん来るのではないかと伝えたが、どうなることか。ロンドンにはあまりにも名所旧跡がありすぎて、フィガロのスザンナ初演者ではさほど関心をひかないとすると大変残念だ。

モーツァルトがナンシーの帰国に際して、自分の演奏するオブリガートを入れて、心を込めて作曲したコンサート・アリア「どうしてあなたを忘れられよう」（K.505）は、例会で野口先生が映像を見せて下さった。2006年1月27日、つまりモーツァルト250歳の誕生日にザルツブルグ祝祭劇場で催されたガラ・コンサートでウィーンフィルをムーティが指揮し、内田光子のピアノ、チェチリア・バル

トリのソロという豪華版だった。バルトリの歌はすごい迫力で圧倒されたが、コケットでチャーミングなナンシーを想像するとアクが強すぎる感じがした。私の聴いたほかの人の演奏の CD と比べてみよう。

*クリスティーネ・シェーファー、ベルリン・フィル、アバード、J・ピリス (Pf)

私が一番良いと思う盤。リリックなコロラチュラと、端正なピアノで正にナンシーとモーツァルトの再現を感じる。

*マグダレーナ・コジューナ、啓蒙時代のオーケストラ、サイモン・ラットル、イマーゼール (Pf)

プラハのベルトラムカ荘の売店で購入した貴重な盤。コジューナはラットルの夫人でチェコ出身のメゾ・ソプラノ。まさに気の合った演奏。ピアノはやや抑え気味の感じ。

*ジェシー・ノーマン、アカデミー室内管、N マリナー、A ブレンデル (Pf)

1978 年シュトラスブールでのライブ録音。ノーマン独特の深い声と表現でドラマチック。ピアノは装飾音が多くて派手な感じ。

*エディット・マチス、レオポルド・ハーガー (指揮と Pf), ザルツ・モーツァルトウム管。これも華麗でナンシーを思わせる。ピアノと指揮は控えめ。1993 年に出版された小学館のモーツァルト全集第 15 巻から

*シルヴィア・サッシュ、ハンガリー国立オペラ管、E ルカス (指揮)、A シフ (Pf) ゆったり、朗々と歌っている。

*前述のNHK「毎日モーツァルト」9月22日放映でバーバラ・ヘンドリックスが歌いピレスのピアノ、ローザンヌ室内管での演奏が流れたが、時間切れで途中までだった。これも全曲聴いてみたい。

ついでにお墓参りの前日に、ロイヤル・フェスティヴァルホールでピアノ協奏曲 27 番を聴いたのでこれも記しておこう。

ピアノ：内田光子、ロンドンフィル、指揮：ウラジミール・ジウロフスキ

モーツァルト最後の協奏曲 27 番変ロ長調 K.595 は、2017 年 2 月にベルリン・シュターツカペレが来日して、バレンボイムが指揮振りで演奏したのをサントリーホールで聴いたのが強い印象に残っていたので、同じ曲とは奇遇だった。

ジウロフスキは 2003 年にロンドンフィルに初登場、2007 年に首席指揮者となり現在に至っているヴェテランである。内田は白髪が増えたがさらに円熟味を増して、昔グルダの弟子だったことから、バレンボイムなどに比してアドリブ、装飾音は多いのだが、考え抜かれたモーツァルトの音として溶け込んでいる。まさにモーツァルトになりきった渾身の演奏で、スタンディング・オベーションに包まれた。応えて演奏したアンコールはソナタハ長調 K.330 の第二楽章であった。終わった後の長い静寂は、この国でいかに彼女が人々に深く愛されているかがよくわかって、深い感銘を受けたのだった。



編集後記

▽本号は、ベスト 10 アンケートの全掲と野口秀夫先生との質疑がスペースを占め、過去最大のページ数になりました。これも歴史の一コマでしょう。▽編集の負荷より、印刷物を会員にお届けするボランティアの郵送作業の負荷が制約として大きくなっています。そのためもあって、今後の発行予定は 8 月末、12 月末になります。原稿の締め切りは 6 月末、10 月末を目処とします。ふるって投稿をお願いします。▽永らく愛好会の最長老として頑張ってくられた後藤瞭也さんが 3 月 4 日 95 歳で亡くなりました。例会をお茶の水のヴォーリズホールで行っていた時代、後藤さんをご婦人方への面倒見がよく、懇親会では話題をつなぎ、料理を回したりと気働きの人で、女性会員をつなぎ止める上で会への貢献は大きかったように思います。天国でモーツァルトの曲をとこしえに楽しまれるようお祈りします。(ガーディナー・イズミ)